



特任教員(准教授)

有吉 亮

アリヨシ リョウ



大学院都市イノベーション研究院 都市イノベーション部門
ariyoshi-ryo-gd@ynu.ac.jp
http://www.cvg.ynu.ac.jp/G4/

工学
土木工学

土木計画学・交通工学

都市交通システム
地域公共交通
協働・共有型モビリティ
MaaS
道路維持管理

[研究概要]

現実の都市や地域をフィールドに、公共交通を中心としたモビリティ(移動可能性)を確保するための実践的な研究を行っています。企業、自治体、他大学との協働により、(1)既存の公共交通を補助する新たな輸送サービス、(2)インターモーダルな公共交通の利用と運用を支援するための情報統合システム、(3)道路維持管理の高度化システムの社会実装に向けたプロジェクトを進めており、大都市の郊外地域などで多数の適用事例を蓄積しています。

[アドバンテージ]

理論と技術を駆使して、移動に関する地域課題を実際に解決することを重視しており、それを担保するための研究対象の包括性(輸送サービス、情報システム、道路インフラ)と、研究分野の多様性(交通、エネルギー、情報科学)が特徴です。また、これまでの活動のアウトカムとして、神奈川県内を中心とした多くのフィールドと実証のノウハウ、産・官・学の各方面への幅広いネットワークを有していることが強みです。

[事例紹介]

<1> 協働・共有型モビリティ ～公共交通指向の鉄道沿線まちづくり～
科学技術振興機構「センター・オブ・イノベーション(COI)プログラム」の支援により、横浜市郊外の住宅地において、2018年度から鉄道と路線バスを補完する新たな輸送サービスの提案と実証を行っています。京浜急行電鉄株式会社および横浜市(金沢区)との共同プロジェクトです。小型低速電動車(グリーンズローモビリティ)の活用による住民間互型の運行システムの実現と、非稼働時の電動車の集合運用によるエネルギーマネジメントとの連携を目指しています。



小型低速電動車を用いた集合型移送サービス実証実験
(横浜市金沢区富岡西地区、2018年)

<2> Universal MaaS ～産学官によるインクルーシブな移動支援～
ANA、京急電鉄、横須賀市、横浜国大の産学官連携により、あらゆる人々の公共交通による移動性の向上と、輸送サービス供給側の運用最適化を同時に達成するための、情報統合・共有システム「Universal MaaS」の開発と実証に取り組んでいます。

■ 相談に応じられるテーマ

端末交通サービスの提案と実証
地域特化型の移動支援情報の提供
EVの集合運用による電力システムとの連携
場所や車両の混雑度のセンシングと可視化

■ 主な所属学会

- (社)土木学会
- (社)日本都市計画学会
- (社)交通工学研究会

■ 主な論文

地形条件の交通手段選択への影響に関する基礎的研究, 土木学会論文集D3, Vol. 75, No. 5, 2019
大都市郊外交通空白地区における小型車両高頻度運行実験の評価に関する研究, 土木学会論文集D3 (土木計画学), Vol. 71, No. 5, 2015
都市圏パーソントリップ調査データを用いた世帯内送迎行動の分析, 都市計画論文集, Vol. 48, No. 3, 2013

■ 主な著書

交通サービスの革新と都市交通計画, 公益社団法人日本交通政策研究会, 日交研シリーズ, A-718, 2018
自家用車による送迎需要とアクセシビリティ特性の関係性の研究, 公益社団法人日本交通政策研究会, 日交研シリーズ, A-575, 2013

■ 主な研究機器・設備

ESRI社 ArcGIS Server (Linux)

■ 主な地域活動

ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ プロジェクト推進部会副主査, 社会展開推進部会副主査(横須賀市)
スマートウェルネス住宅等推進モデル事業 評価委員(国土交通省)
成熟社会に対応した郊外住宅市街地の再生技術の開発 技術研究開発検討委員会(国土政策技術総合研究所)